

狭山の隠れたいいところを、広報課の職員が取材しお伝えします。



を植え、8月中旬ごろにかけて茎が1.5～2メートルほどの高さまで成長します(写真2)。その後だんだんと茎に蓄えた養分が、土の中の里芋に下りて、茎が痩せ細っていきます。そして、収穫は9月中旬から始まり、収穫後も土の中で保存することで、3月ごろまでおいしさを保つことができるそうです。

早速掘りたての孫芋を、里芋本来のおいしさが味わえる衣被でいただきました！衣被は小さな里芋を皮付きのまま茹でたもので、指で押すと皮がつるとむけて簡単に食べることができます(写真3)。他にもお勧めの食べ方を伺うと、お店で手にすることの多い孫芋は、煮物や衣被に、直売所などで買うことができる少し硬めの子芋は、おでんなどに入れるとおいしくいただけるそうです。松本さんは「里芋を食べて、狭山の里芋のおいしさを知ってもらいたいです」と話してくれました。

同倶楽部では、親芋を活用した「さといもコロッケ(写真4)」も商品化するなど、狭山の里芋をPRしています。このコロッケは、市内の飲食店や精肉店で食べることができます。ぜひ、地元の名産、狭山の里芋をさまざまな料理で味わってみてくださいね！

問合せ 農業振興課へ内線2532



埼玉県は、里芋の農業産出額が全国1位！中でも狭山の里芋は、「ねっとり感」や「芋の白さ」が特長で、そのおいしさから有名な料亭で使われるなど、高く評価されています。今回は若手の農業者が集まり、狭山で里芋の増産とブランド化に取り組んでいる、さやま里芋増産倶楽部の代表・松本雅巳さんにお話を伺いました。

畑に到着すると、土の中から現れたのは、大きな塊になった一株の里芋(写真1)！親芋を中心に、子芋、孫芋、ひ孫芋…と1つの芋からたくさんの芋ができることから、子孫繁栄の縁起物と言われています。

里芋のおいしさの秘密は、親芋から伸びる、太い茎と大きな葉にあります。里芋は、3月ごろに種芋

Zoom up どうぶつ園

智光山公園子ども動物園  
〒350-1335 柏原864-1  
☎2953-9779  
月曜休園(祝日の場合は翌日)

動物紹介 マーラ (齧歯目) テンジクネズミ科 体長約70cm 体重約8～9kg



マーラは、その姿からウサギやカンガルーの仲間に見えますが、実はテンジクネズミに近いネズミの仲間です。アルゼンチンの固有種で、パンパと呼ばれる草原に生息し、飛び跳ねながら最高時速45kmで走ります。繁殖期の8月から翌年1月までは大きな集団を作り、共同の巣穴で母親1頭が1～3頭を出産し、子育てをします。子ども動物園では、オス1頭とメス2頭を飼育しています。耳標(耳に付ける色付きのしるし)で個体が識別でき、オスは水色、メスは黄緑色の耳標を右耳に付けています。今年生まれた子ども(メス)は、耳標がついていません。子年の今年、テンジクネズミやカピバラなどのネズミの仲間とあわせて、じっくりと観察してみてください。

イベント紹介 節分イベント



恵方巻き風のエサを飼育係が動物たちにプレゼントします。  
日程 2月1日(土)・2日(日)

テンジクネズミのひな壇展示  
3段のひな壇にテンジクネズミが並び、かわいらしい姿を披露します。  
日時 2月8日(土)～3月3日(火)(休園日を除く)、10時30分～11時30分、13時30分～14時30分、15時30分～16時の間で実施



みんなであつなく 人 市民リレー

市民の皆さんに、思い入れのある品物などを紹介していただき、友人にパトタッチします

私の宝物… 友人から届いた絵葉書



篠原 稔昌さん (水野在住)

私の宝物は、15年前に高校時代の友人から届いた絵葉書です。この絵葉書を見る度に思い出が湧いてきます。それは、大工の先輩が初めて夏休みに、絵葉書の送り主である友人と当時住んでいた東京から、山間を伝って地元長野県の佐久市まで徒歩で帰ったことなんです。その道のりは想像以上に険しく、結果的に4泊5日の長旅となりました。

中でもよく覚えているのが、喉を潤すため、山中の川の水を飲み、その水にあたってしまったこと。友人は身動きが取れなくなった私を担いで急斜面を上がり、ご飯を炊いて食べさせてくれました。あの時友人がいなければ、助からなかったかもしれません。悪い思い出ばかりではなく、瑞牆山で見たヒカリゴケや、標高2



千メートルで見た一面に広がる針葉樹の風景、山から見る星空など、山育ちの私でも初めて見るようなものがたくさんありました。この絵葉書は、貴重な経験となったこの出来事を、風化せずいつも思い出させてくれる宝物です。

このコーナーは、市民の皆さんを取材して作成しています。

問合せ 正能勝子さんへ ☎2955・5737

いきいき 自治会

青下自治会(堀兼地区)  
私たちの自治会は、市内で最も東に位置し、川越市に隣接しています。現在、会員は約180世帯ですが、最近では新規住宅も多く完成し、会員数の増加が見込まれています。  
7月には青柳地区の4つの自治会とつじ苑自治会合同で夏祭りを行うなど、年間を通してさまざまな活動を行っています。中でも会員が協力して取り組んでいるのが、久保川の掃除です。自治会の中心を流れるこの川の景観を守るため、くまなく清掃作業を行っています。多くの会員が参加するため、お互いの近況報告の場にもなっています。  
台風19号では、久保川内のブロック塀が7メートル程崩れてしまい、修復までの間、一時危険な状況になりました。今後もしつくるか分からない災害に備え、地域住民、市、自治会が互いに連携して、楽しく安心して暮らせる地域づくりを目指しています。



自治会提供

ハロ-仲間たち Vol.459

絵手紙四季彩の会

私たちのサークルは、結成17年目で、15人の会員が毎月第3木曜日の午後中央公民館で活動しています。絵手紙は、楽しむ気持ちさえあれば、いつでも、誰にでもできます。そしてその魅力は、同じものを見て描いたとしても、見る角度や添えるメッセージなど、人それぞれ違った個性が表れることです。描けば描くほど感情が豊かになり、表現の幅が広がっていきます。活動の際には、指導者が決めたテーマに沿った作品づくりをしており、完成した作品は、指導者に講評をいただいています。

